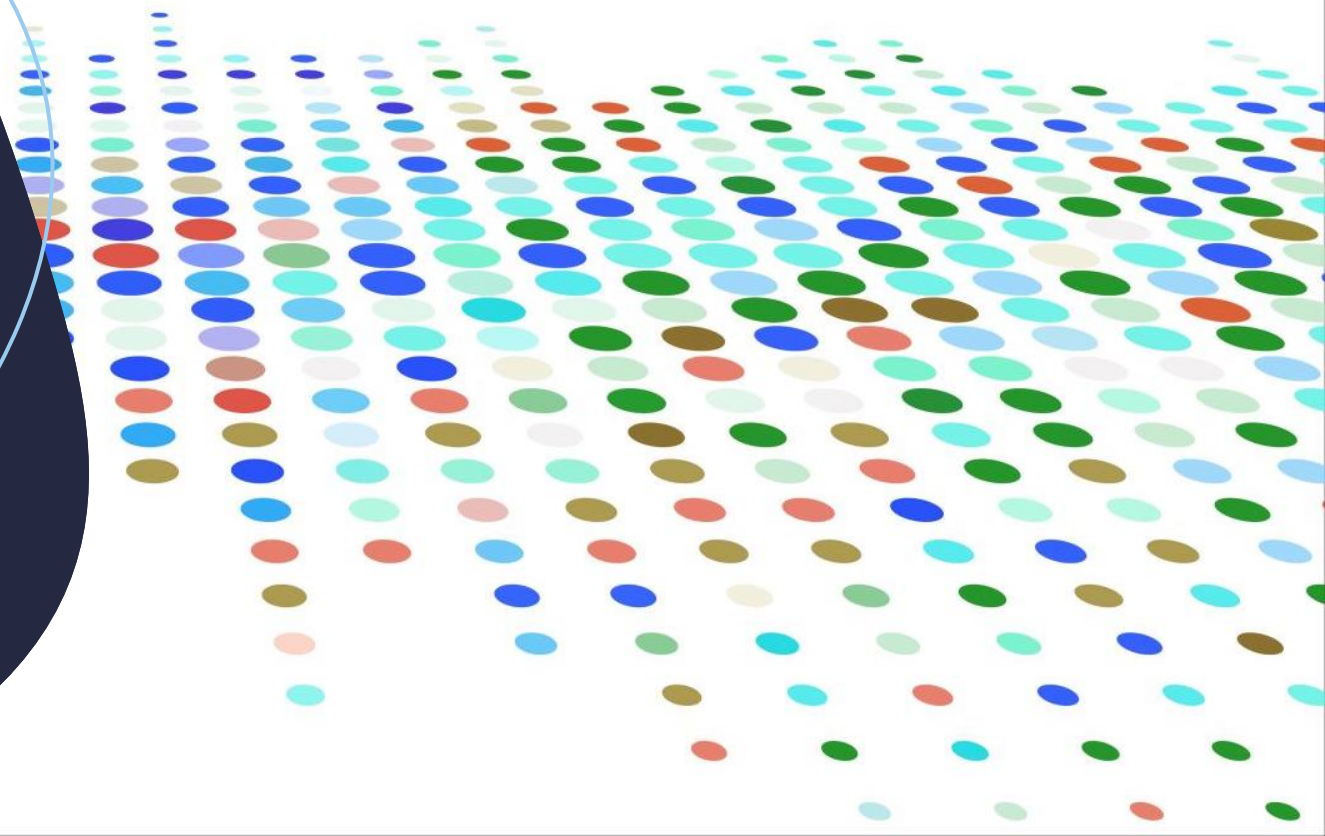


コロナ後に向けての
東南アジア各国の
システム投資アンケート
(日系製造業編)

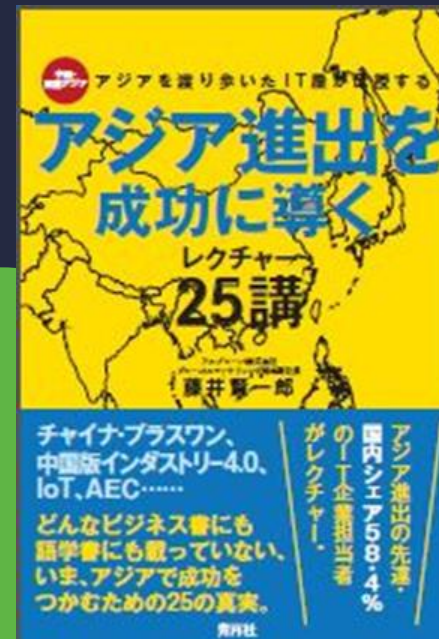
【Asprova株式会社】



・ 当社では今年にはいり、東南アジアの日系製造業の駐在員の方に向けて、コールセンタより、「2021年のシステム投資はどう考えているか?」のアンケートを取りました。

・ この調査はクォータごと(2021年1月から12月)に実施させていただく予定で、今回は、2021年1-3月の調査結果(タイ インドネシア ベトナムの3ヶ国と比較対象として一部中国の4ヶ国を対象)をご報告させていただきます。

SEとして半導体の生産管理システムを構築した経験を活かし、アスプローバ株式会社のパートナー会社に入社。営業コンサルタントとして国内外の300社以上の現場に生産スケジューラを導入。アスプローバ株式会社に転じた後、2005年からは中国、2013年からはタイの責任者として現地に赴任。現在は本社に戻り、アジア・ビジネス、製造業の分野にかかわるセミナーでの講演や雑誌・ウェブ媒体への寄稿などを行っている。



アスプローバ株式会社
営業顧問
藤井 賢一郎

目次

1.システム投資に関して

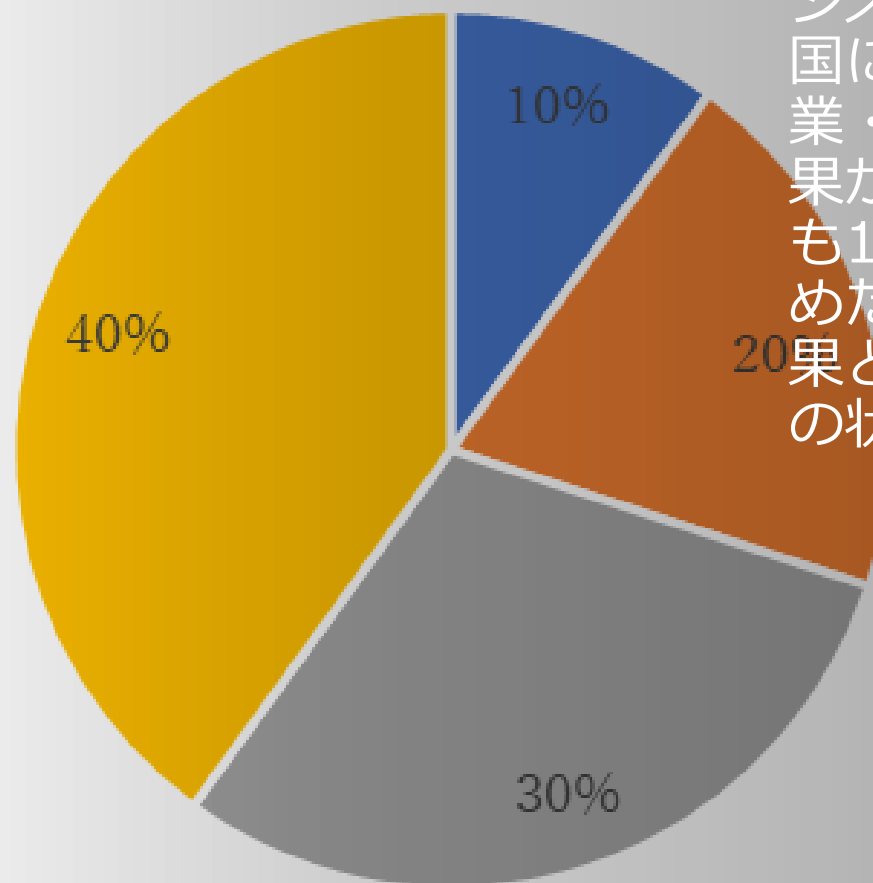
2.システム投資の目的

3.システム投資予算感

4.生産管理業務のローカルスタッフ化率

5.その他

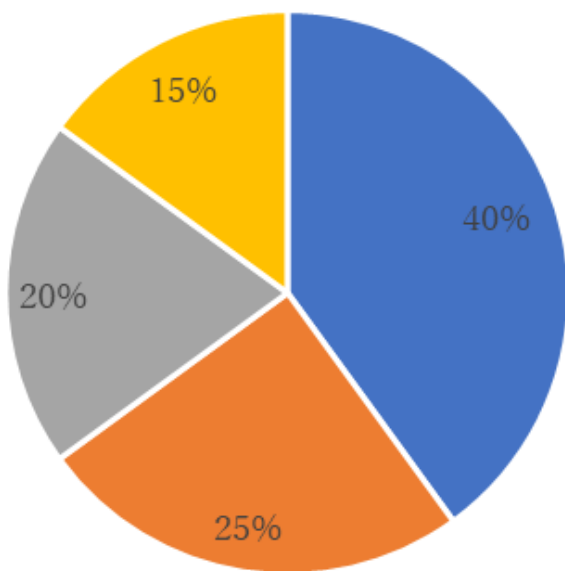
システム投資に関して



システム投資傾向としては、国によって偏在はなく、企業・業種により若干異なる結果が得られる。また、各国とも100社コールをゴールに進めたために、100%正しい結果とはいえないが、ある程度の状況が把握できた。

■ 積極的に投資する ■ 必要投資のみに限定 ■ 上期の様子を見て下期に予算執行 ■ 現状維持 ■

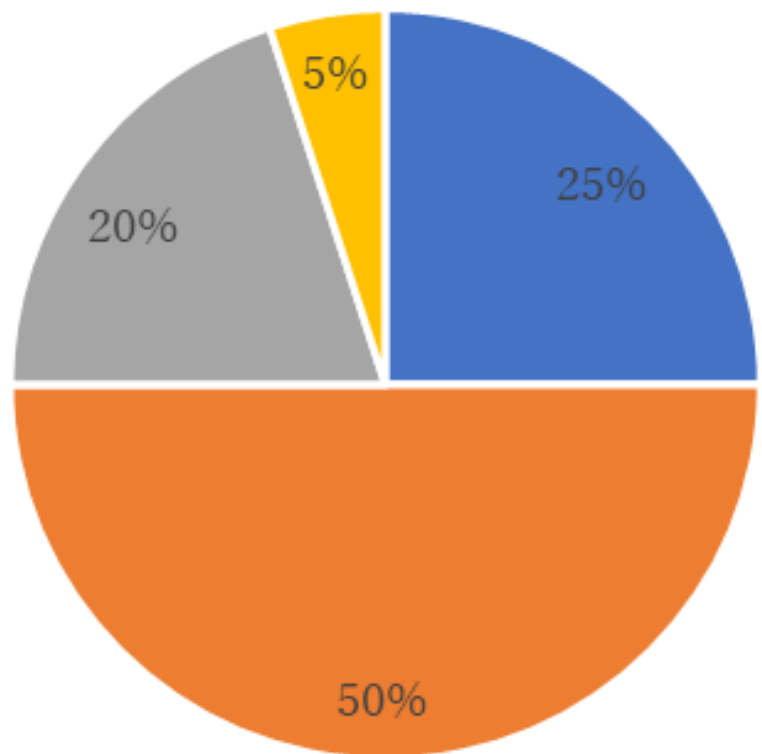
システム投資の目的



現場の見える化 ■ 原価の把握 ■ 需要変動対応 ■ その他

- 現場の見える化に関しては、進捗・在庫・品質など広い範囲が回答にあるが、総じてこれまで、EXCEL管理で属人化されていた情報を駐在員が現地にはいれないこともあって、トータルシステムで見える化したいとのニーズ(生産管理システムが未構築の顧客に多い)。原価に関しては、これまでどんぶり勘定であった利益管理も含めて、明確化したいとの要望があがっている。需給変動に関しては、現時点というよりは、コロナ後の需要の急速な回復にどう対応するか?が懸案になっている様子だ。

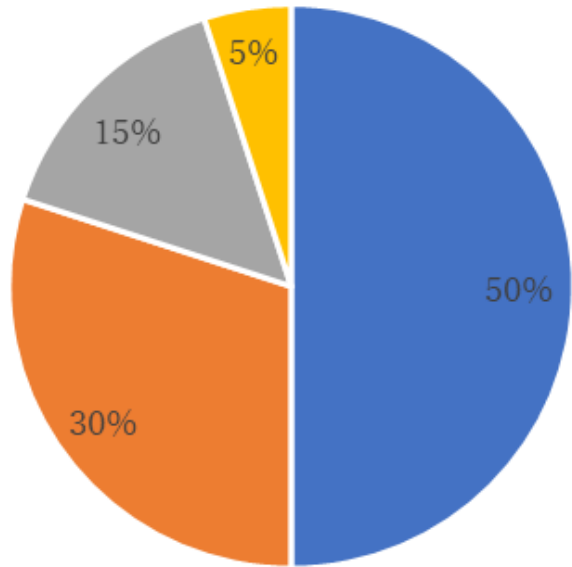
予算感



- ・ システム投資予算は、特にその国の人件費や工場の生産高に比例するため、まちまちだが、現地予算の場合、一番多いのは日本円で100万円～300万円の範囲。日本本社の予算補填があった場合、500万円以上となる。昨年から今年にかけての特徴は、駐在員が現地にはいない工場が多いため、日本本社での予算策定・決済が多いことだ。当社のような生産スケジューラソフトウェアパッケージの場合も現地ニーズを確認の上、日本本社の承認を求めて訪問する必要がある。

万円 ■ 100万円～300万円 ■ 300万円～500万円 ■ 500万円以上

生産管理業務の現地スタッフ化



■ 中国 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム

- 生産管理業務のローカルスタッフ化については、もっと進んでいる中国日系工場(当社上海法人は100%現地化)が50%以上、これに続いてタイもその方向性が進んでいる。インドネシアに関しては思った以上に進んでおらず、ベトナムはまだまだ、日本人頼みの状態だが、コロナによって今後一気にローカル化がすすむものと予想される。
- それに対応してソフトウェアの現地語化も要求されるが、中国は中国語での運用、ベトナムは英語で対応できるが、問題はタイとインドネシア、両国とも決して英語に堪能な国民性とは言えない。したがって、当社製品もタイ語化・インドネシア語化を進めている。

まとめ

- 1.システム投資は必要要件に限定し、下期に様子を見て失効する
- 2.投資目的としては、現場の見えるか 原価把握
景況改善後の需給調整機能
- 3.予算感としては、100～300万円
- 4.生産現場のローカルスタッフ化は中国が最も進んでおり、タイがそれに続く

今後想定されるシステム投資(私見)

- ・ワクチン投与の遅れる東南アジア各国での景況改善は、2022年以降
- ・人件費を含めた原価の上昇傾向は否めない
- ・現地市場の開拓に伴い、工場管理職の現地人化が進む
- ・日系製造業では日本国内工場のDX化に伴い、東南アジア工場のシステム化が推進される
- ・日本本社からの現地工場の見える化の必要性から、クラウド環境のシステム化が主流になる
- ・地政学的リスクから、生産国のスクラップ&ビルド戦略が重要となり、システムのサブスクリプション提供方式が有効となる
- ・特に製造現場では、現地語でのIT運用が優位

目指せ！世界一の工場 アジアの時代

- The World's Best Factory in the Asian Era -

[ASPROVA APS](#) [事例紹介](#) [資料ダウンロード](#) [世界のパートナー](#) [アジサイBLOG](#)



CONTACT US

Name

Email